

第二九一回俳都松山俳句ポスト

第二九一回開函

「紅日」主宰 川内 雄二 選

特選三句

潮香る鹿塚に降る蝉時雨

愛媛県松山市 木邨 一郎

大天守小天守掠め夏つばめ

広島県呉市 吉田 静穂

晴れて来て一段高く蝉時雨

埼玉県熊谷市 風間 麗子

入選二十句

(市外)

夕風や開けつ放しの漁師町

愛媛県今治市

渡邊

英治

みな後ろ姿ばかりの秋遍路

長野県長野市

吉沢

道夫

風涼し天守四方を開け放ち

三重県鈴鹿市

山中

悦子

膝の子の甘き乳の香春炬燵

東京都世田谷区

保原

成子

青公孫樹本堂大師堂並ぶ

埼玉県熊谷市

田島

良生

ひたすらにけふ生き延びる蟬の声

茨城県日立市

岡崎

健一

夏蝶の方丈高く纏れ飛ぶ

福岡県北九州市

大久保

義雄

熱き湯につかり暑さを忘れけり

広島県安芸郡府中町 今井 洋子

死に場所はここでもいいのか深山蟬

愛知県岡崎市 井原 千恵理

古希の旅入道雲は坂の上

神奈川県横浜市 板倉 秀男

亡き母の使い古しの夏帽子

愛媛県喜多郡内子町 高畑 美津子

草青む黒牛の皆東向く

埼玉県さいたま市 石田 恭子

一人ならどこへ座するも夕端居

徳島県海部郡海陽町 新井 久実

(市内)

鬼百合の崩れし崖に乱れ咲く

愛媛県松山市 椋名 清一

サンダルをはみ出す指に砂暑し

愛媛県松山市 中村 信子

きつぱりと髪断ち切りて夏に入る

愛媛県松山市 辻原 雅子

母のとし越えてふき煮るうすみどり

愛媛県松山市 谷 美枝子

雨ふれば雨をよるこぶ桜の実

愛媛県松山市 高木 風華

(十五歳以下)

せのびしてひまわりととるきねんしゃしん

東京都江戸川区 わたなべ えいた

かくれ門うらは日かげでいい気もち

愛知県瀬戸市 岩田 悠杜

(伊予灘ものがたり賞)

単線の一輛降りて蝉しぐれ

千葉県千葉市 亀井 武

	投句総数	一、五一七句
市外		一、二五一句
市内		二六六句
投句者総数		九七四人
市外		八一三人
市内		一六一人

開函日

平成三十年八月三十一日